



第8回 福井ベンチャーピッチ開催報告 後編

「福井ベンチャーピッチ」とは、成長意欲の高いベンチャー企業に対して、VC、金融機関等の前でセールスプレゼン（ピッチ）する機会を設け、登壇企業の資金調達や販路拡大、ビジネスマッチングを促進し、全国への足がかりをつくる機会を提供するイベントです。

開催日時●2022年11月17日(木)
参加者数●324名 (会場参加者106名・オンライン参加者218名)
主催●公益財団法人
ふくい産業支援センター

ふくい産業支援センターでは、2022年11月17日に、第8回「福井ベンチャーピッチ」を開催いたしました。本イベントは2部構成で、第1部ではピッチ登壇経験者である、株式会社ドラフト 代表取締役CEO 伊藤佑樹氏、ファーストトレード株式会社 代表取締役社長 三上良平氏、チャンスメーカー株式会社 代表取締役CEO 平林満氏 からそれぞれ5分間の事業プレゼンをいただいたのち、「ピッチ登壇を契機に飛躍する3人の社長に聞く」と題してディスカッションいただきました。コーディネーターは、株式会社アイピーアライアンス 代表取締役社長 木嶋 豊氏に務めていただきました。第2部では、福井県の中小ベンチャー企業5社によるビジネスプレゼンテーション、ベンチャーピッチを行いました。

本稿では、福井ベンチャーピッチに登壇された5社の感想を、前編・後編に分けてお届けします。



AIで納得!「つらい症状」がみんなにわかる新アプリ

京都大学医学部附属病院
緩和医療科・緩和ケアセンター
特定講師 嶋田 和貴氏

発表概要：がんに伴う心と体のつらい症状を緩和するための緩和ケアの専門医である発表者が、緩和ケア専門職と同様にがん患者のつらい症状を理解するための機械学習アプリを開発。本アプリを社会実装するためのパートナー企業を求める。

会社設立：未設立

期待事項：業務提携、販路開拓、試作品開発から事業化までを包括するパートナーシップ

特許を取得して3年経つのですが、ビジネス化に向けては足踏み状態が続いていました。そんな中でピッチ登壇の機会をいただき、本事業の構想をしっかりと整理することができました。

2ヶ月間のメンタリング期間中は、事務局の方が、少しがんばれば手が届くくらいの絶妙な距離にボールを投げてくださいるので、週一ペース(のメンタリング)でもがんばることができました。感謝しています。



産地工場会社[hashi-coo]で「食」×「職」

顧客体験を促進!
スタイル・オブ・ジャパン株式会社
代表取締役 大森 一生氏

発表概要：産地工場会社[hashi-coo]を設立し、産地の製造技術と全国工芸産地とのネットワークを生かしてオンラインとオフライン双方で楽しめる体験型プラットフォームを創造するなど、地域の持続可能性を支える循環経済を目指す。

会社設立：2005年6月設立

期待事項：出資・販路拡大・業務提携・コラボPR

非常に緊張しましたが、楽しかったです。福井ベンチャーピッチに挑戦した理由は、「箸屋という仕事がある」ということを世の中に知ってもらい、職種としての可能性と、地域産業としての生き残りを探るためでした。

今回のピッチ登壇をきっかけに、箸屋の可能性を感じていただき、皆さんのご意見もうかがいながら、今後の展開を考えていきたいと思っています。



地方都市 福井から「建てる」を応援する会社。

タッセイの成長戦略
株式会社タッセイ
代表取締役社長 田中陽介氏

発表概要：福井県と石川県を中心に①建築資材・設備の商社②住宅の外装工事③大型ビルの内装工事で培ったビジネスモデルを、5年後の新規株式公開(IPO)を成長エンジンに、北陸から全国へと成長・拡大を目指す戦略を発表。

会社設立：1949年7月設立

期待事項：IPO支援と助言・出資・人材採用・連携や協業できる企業情報の提供

2か月間のメンタリング期間は非常に貴重な時間でした。途中で嫌になって心が折れそうになる度に、事務局の方々のサポートに救われました。本当に感謝はありません。ありがとうございました。

選考会を通過し、ピッチに登壇した結果、いろんな人に会えて、いろんなことを考えるようになり、自分自身の中で変化が生まれたことに大きな意味があったと思っています。



次回の「福井ベンチャーピッチ」は2023年秋頃に開催する予定です。登壇に興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。なお、イベントの詳細はこちらのブログ記事でもご覧いただけます。

https://www.s-project.biz/staff-blog/fvp_8

執筆者：新産業支援部 ベンチャー・Eビジネス支援G 岡田留理

